

令和4年度の事業進捗評価

基本施策	No	取組名	担当課/団体	目標・評価方法	目標に対する評価
(1) 花と緑のある 安らぎの場の拡大	1	緑化資材の提供	静岡県グリーンバンク	・緑化資材の提供先を毎年度4,000団体実施することで、花づくりや緑化活動に多くの県民が携わり、公共的な施設等に花と緑のある安らぎの場を提供する。	・令和4年度利用団体数は、目標4,000団体、実績4,497団体、達成率112.4%。 ・地域の緑化ボランティア団体が行う公共的花壇の維持管理に必要な緑化資材の供給源として周知され、多くの県民が緑化活動に携わるにあたり不可欠な事業となっている。 ・定期配布事業により提供された資材により、公園や学校など地域の公共花壇が花と緑で彩られ、市民に安らぎを与えることができています。
	2	花の都づくり	農芸振興課	・暮らしの様々な場面で花と緑があふれる「花の都しずおか」を実現するため、花の魅力の発信や花に触れる機会を創出する。 ・ホームページ閲覧数 (31,000件/年) ・花緑出張サービスで実施した花育講座受講者数 (2,400人/年)	・ホームページ閲覧数は目標に達しなかったものの、「花緑出張サービス」による花育講座の受講者数は目標人数の99%であり、目標を概ね達成できた。加えて「学校中花いっぱい大作戦」による花育講座の受講者も2,241人あり、多数の園児や児童に花に触れる機会を提供できた。
	3	花育活動（寄せ植え）	静岡県グリーンバンク	・幼稚園等が花育研修を実施することで、子供達が幼少期から花や緑と親しむ機会をつくり、緑化活動の重要性と命の大切さを醸成する。	・花育教室を現在の方式で実施するようになった平成28年度と現在の令和4年度を比較してみると、参加園数で290.2%、参加園児数で225.7%と大幅に伸びており、目標である幼少期から花や緑と親しみ緑化活動の重要性と命の大切さを醸成する機会の創出につながっている。
	4	里山学習施設の管理運営及びプログラムの提供	環境ふれあい課	・自然ふれあい施設における自然体験プログラムを毎年度180回実施することで、県民が自然と気軽にふれあう機会を創出する。	・新型コロナウイルス感染拡大前の実績までの回復に至らないものの、目標の9割以上の実績を達成しており、概ね評価できる。 ・管理指標：自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数 令和4年度実績 169回（達成率93.9%）
	6	しずおか棚田・里地くらぶ	農地保全課	・しずおか棚田・里地くらぶによる棚田保全に係る意識啓発や、活動への参画を促す取組みにより各棚田保全活動への支援の輪を広げ、「ふじのくに美しく品格のある色づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動の規模を縮小した棚田もあったが、年間を通じた活動参加者は維持した。 ・管理指標：ふじのくに美しく品格のある色づくりの参画者数 令和4年度実績 78,211人（達成率89.3%）
	7	ふじのくに色彩・デザイン指針	景観まちづくり課	・高質な公共空間の形成に資する研修会への参加市町数により評価する。	・高質な公共空間の形成に資する研修会への参加市町数は、33市町であり、「ふじのくに色彩・デザイン指針」の理解を進め、指針に基づく公共施設整備を推進した。
	8	豊かな暮らし空間創生	住まいづくり課	・一定の基準に達した住宅地を「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定しているため、この認定区画数の増加を本取組の目標とする。 ・現在の認定区画数は360区画であり、令和7年度までに600区画を目指し評価する。	・令和4年度における認定はなかったが、研修会の開催やイベントへの出展が認定に係る相談の増加につながり、事業は着実に進んでいると言える。 ・管理指標：豊かな暮らし空間創生住宅地の区画数 令和4年度実績 累計360区画（達成率60.0%）
	8-2	安全で美しいいなみ整備	住まいづくり課	・美しいいなみの形成のために市町が補助する場合に県が市町に対して助成しているため、この制度を創設した市町数の増加を本取組の目標とする。 ・令和4年度末時点で5市町が制度創設済みであり、令和7年度までに18市町を目指し評価する。	・補助制度を整備していない市町に働きかけを行い、令和4年度から1市町増えて5市町への助成制度となり、助成件数も増加していることから、事業は着実に進んでいる。（達成率27.8%）
(2) 芝と親しみ、 スポーツを楽しむ 機会の増大	9	芝生地の普及支援、 管理支援	静岡県グリーンバンク	・普及支援は園庭等芝生モデル事業、管理支援は芝生管理活動支援事業を毎年度30団体を継続的に実施することにより支援する。	・園庭等芝生モデル事業 芝生化した園庭・校庭数 目標R7:96箇所 実績R4:76箇所 達成率:79.2% 園庭に芝生を導入した市町 目標R7:35市町 実績R4:19市町 達成率:54.3% （これまで実績のない富士市で子ども園2箇所が芝生化を実施。） ・芝生管理活動支援事業 地域の緑化活動団体数 目標R7:300団体 実績R4:248団体 達成率:82.7%
	10	芝生アドバイザーの育成・ 活用	静岡県グリーンバンク、 芝草研究所	・芝生に関する講座の修了者数を集計するとともに、受講生や専門家の派遣を受けた園、施設等にアンケートを行うことで事業の効果を評価する。	・令和4年度に開催した芝生教室の参加者アンケートでは、参加者の100%が「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答し、自由意見でも「維持管理のポイントがわかった」等の声が寄せられ、好評を得た。 ・芝生アドバイザー活用では、園庭の芝生維持管理に対して適切な助言と指導を行うことで、防塵効果、高温化対策、安全性と景観向上が図られたなど、施設から喜びの声が寄せられた。
	11	用途に応じた芝生の開発	芝草研究所	・芝草研究所及び静岡県グリーンバンクによる芝生化実績件数により、事業の効果を評価する。	・芝生文化創造プロジェクトが開始された平成24年度から令和4年度までに、芝草研究所の技術支援により24箇所48,903㎡、グリーンバンクの補助事業により7箇所46,020㎡の芝生化を実施しており、確実に県内の芝生地が拡大している。 ・管理指標：芝生文化創造プロジェクトで芝生化した園庭・校庭数 令和4年度実績 76箇所（達成率79.2%）
	12	工場緑化セミナー	企業立地推進課	・工場緑化セミナー後、アンケートを実施し、参加者が本県の工場緑化に係る理念を理解できたかを評価する。また、緑化優良工場としての受賞件数で評価を行う。	・工場緑化セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止としたため、アンケート調査が未実施であり、評価不能である。 ・緑化優良工場としての受賞件数は、令和4年度末時点で累計92件となり、着実に受賞件数を増やしている。 ・管理指標：緑化優良工場としての受賞件数 令和4年度実績 累計92件（達成率115%）
	13	県営都市公園の指定管理 による芝生の良好な維持	公園緑地課	・芝刈の回数など維持管理に関する年間計画を立て、達成状況により評価する。	・いずれの公園においても、年間計画を目安に、実態に応じた維持管理を実施することができた。 （愛鷹広域公園） 芝刈 265回/年、散水 45回/年、施肥 35回/年、抜取除草 30回/年、薬剤散布 12回/年 など （草薙総合運動場） 芝刈 145回/年、散水 90回/年、施肥 25回/年、抜取除草 28回/年、薬剤散布 14回/年 など （小笠山総合運動公園） 芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、薬剤散布 10回/年 など
(3) 花と緑による おもてなし空間の 創造	15	公共施設の緑化 （県庁本庁舎）	資産経営課	・農業高校・農林環境専門職大学と連携し、季節感のある庁舎の演出を図る。	・令和4年度は窓辺の花5回、福祉の花8回、本館2階寄せ植えを5回設置し、令和3年度と同程度の事業実施ができた。
	15-2	公共施設の緑化 （県立美術館、地球環境史 ミュージアム、グランシップ、 舞台芸術公園）	文化政策課	・利用者アンケートの満足度により評価する。	・植栽管理等を行った結果、利用者から「緑に囲まれて自然豊かで良い」等の声が寄せられ、良好な緑化環境を維持することができた。
	15-3	公共施設の緑化 （日本平夢テラス）	観光政策課	・来館者の御意見として庭の緑化に関する意見により評価する。（1階インフォメーションに常設）	・計画的な維持管理を行い良好な緑化環境を維持することで、来館者から苦情等もなく、来館者に快適な空間を提供することができた。
	16	県立森林公園 アカマツ林再生	環境ふれあい課	・ボランティアによる保全活動の実施状況（回数、参加人数）により評価する。	・県、指定管理者、県民ボランティア、企業が連携し、県立森林公園のシンボルであるアカマツ林の再生、保全が継続して行われており、評価できる。 ・令和4年度 ボランティアによる保全活動の実施状況（75回、参加人数940人）

基本施策	No	取組名	担当課/団体	目標・評価方法	目標に対する評価
(4) 花と緑がある まちの魅力の向上 と発信	18	さくら愛護思想普及の 推進	静岡県さくらの会	・ 毎年のホームページアクセス数を継続的に記録することにより、その年の傾向と、桜への関心度の変化を評価する。	・ 令和4年度はさくら写真コンクールで応募作品のサイズを従来の4つ切りサイズに加え、A4サイズも対象にしたことから、応募点数が昨年度と比べ、大幅に増加した。 ・ 静岡県さくらの会のホームページのアクセス件数は目標450,000回に対し、436,296回と目標には届かなかったため、引き続きさくら愛護思想普及に取り組む。 ・ 管理指標：静岡県さくらの会ホームページアクセス数 令和4年度実績 436,296回（達成率97.0%）
	19	さくらの保護育成	静岡県さくらの会	・ さくら相談員派遣を受けた個人、団体からの声を収集し、意識の変化、満足度を評価する。	・ 桜は他の樹木と比べ剪定に弱く、切り口から細菌等が入り病気になるやすいため、過去に行われた不適切な剪定により弱ってしまった桜が多く見られ、桜の維持管理に対する知識が十分に浸透していない現状がある。 ・ さくら相談員派遣事業では、桜の管理者から寄せられる質問に専門家が丁寧に答え、正しい維持管理に関するアドバイスを行うことにより、桜の維持管理に関する意識の普及に寄与している。 ・ さくら相談員派遣を受けた個人、団体からは「桜の老朽化に困っていたが、倒木の危険がある木と残せる木を1本ずつ判定してもらったので、今後の再整備に目途が立った」など、喜びの声が寄せられた。
	20	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール、花育活動の推進	農芸振興課	・ 県内における花の都づくりを広く展開するため、地域や企業における花の利活用や、学校等における花育活動を推進する。 ・ 花緑出張サービスで実施した花育講座の受講者数2,400人/年	・ 「花緑出張サービス」による花育講座の受講者数は目標人数の99%であり、目標を概ね達成できた。花緑出張サービスとは別に、「学校中花いっぱい大作戦」の受講者も2,241人あり、花の都しずおかの浸透が図られた。 ・ 管理指標：花育活動受講者数 令和4年度実績 2,379人（達成率99.1%）
(5) 社会総がかりの 緑化活動への 参加促進	21	しずおかアダプト・ ロード・プログラム	道路保全課	・ 快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援する。 ・ 活動道路延長、活動人数により評価する。	・ 地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援したことにより、快適な道路空間の確保が図れている。 ・ 参加住民の高齢化等から令和3年度より活動道路延長、活動人数が減少しているが、減少分は県業務委託にて除草を実施しているため従来通り快適な道路空間の確保が図れている。
	22	リバーフレンドシップ 制度	河川企画課	・ リバーフレンドシップの活用により良好な河川環境の保全活動の実施状況（団体数等）により評価する。	・ リバーフレンド団体の締結数は、増加率は少ないものの年々増加している。 ・ 締結解除団体が当初と比べ、増えており、持続可能な活動のための制度改善に努めていく必要がある。
	23	ふじのくに美農里 プロジェクト	農地保全課	・ 「ふじのくに美農里プロジェクト」を活用した農地等の地域資源を保全する活動を広め、多様な主体の参画等を得ながら活動の持続性を確保し、「ふじのくに美しく品格のある色づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。	・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、総会等の密になりやすい取組は縮小したが、年間を通じた活動参加者は増加した。 （R4:60,311人） ・ 管理指標：ふじのくに美しく品格のある色づくりの参画者数 令和4年度実績 78,211人（達成率89.3%増）
	24	一社一村しずおか運動	農地保全課	・ 一社一村しずおか運動を含め、管理指標である「ふじのくに美しく品格のある色づくりの参画者数」により評価する。	・ 新たに農山村と企業の取組認定はなかったが、本取組による参画人数は増加した。 ・ 管理指標：ふじのくに美しく品格のある色づくりの参画者数 令和4年度実績 78,211人（達成率89.3%）
	25	森づくり県民大作戦	環境ふれあい課	・ 森づくりボランティア団体、企業、市町、県などの行事参加者の実績を集計し、評価する。	・ 新型コロナウイルス感染症拡大前の実績までの回復には至っていないが、行事数、参加者数ともに前年度を上回っており、回復傾向にある。 ・ 管理指標：森づくり県民大作戦参加者 令和4年度実績 17,632人（達成率63.0%）
	26	しずおか未来の森 サポーター	環境ふれあい課	・ 新たにサポーター協定を締結した企業等の実績を集計し、評価する。	・ 令和4年度末でしずおか未来の森サポーター参加企業数は累計148社となり、目標を前倒しで達成することができた。 ・ 管理指標：しずおか未来の森サポーター企業数 令和4年度実績 148社（達成率102.8%）
	27	ふじのくに森の防潮堤 づくり	森林保全課	・ 植樹祭等への参加者からの声を収集し、防潮堤への理解度や協力意識の変化を評価する。	・ 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止や規模縮小が続く、感染拡大前の実績までの回復には至らなかったが、前年度実績を上回った。 ・ 本植樹祭には、幅広い年齢層からの参加があり、海岸防災林が持つ機能及びその重要性について、広く周知することができた。 ・ 参加者の中には、過去に実施した植樹祭にも参加した人がおり、本事業への協力意識が見られた。
	28	緑化グループ支援事業	静岡県グリーン バンク	・ 緑化グループ支援事業を実施した団体数により、評価する。	・ 地域の緑化活動団体数 目標R7:300団体 実績R4:248団体 達成率:82.7% ・ 地域の公共的花壇は、緑化グループ支援事業を活用してボランティア団体を支援することで良好に管理され、地域住民に潤いと安らぎを与えている。
(6) 緑化活動の 核となる人材の 育成	29	緑化コーディネーターの 育成・活用	静岡県グリーン バンク	・ 緑化コーディネーター養成講座の修了者の累計人数により、評価する。	・ 緑化コーディネーター養成講座修了者数 目標R7:390人 実績R4:360人 達成率:92.3% ・ 単年度で50人の増加を見込んでいる。R4は130人の増加。 ・ 緑化コーディネーター養成講座の修了生を緑化グループ支援事業の新規団体に派遣し緑化活動の支援を行った。（15団体29回）